

ひょうごらくのうメモ

2

2024FEB



表紙:『 きもちがいいな 』南あわじ市 島村 海音さん
第41回らくのうひょうごフェスティバル・絵画コンクールより

フルカラー版は組合ホームページから
ご覧いただけます。



発行：兵庫県酪農農業協同組合

神戸市西区伊川谷町潤和1058
西神文化センター3階

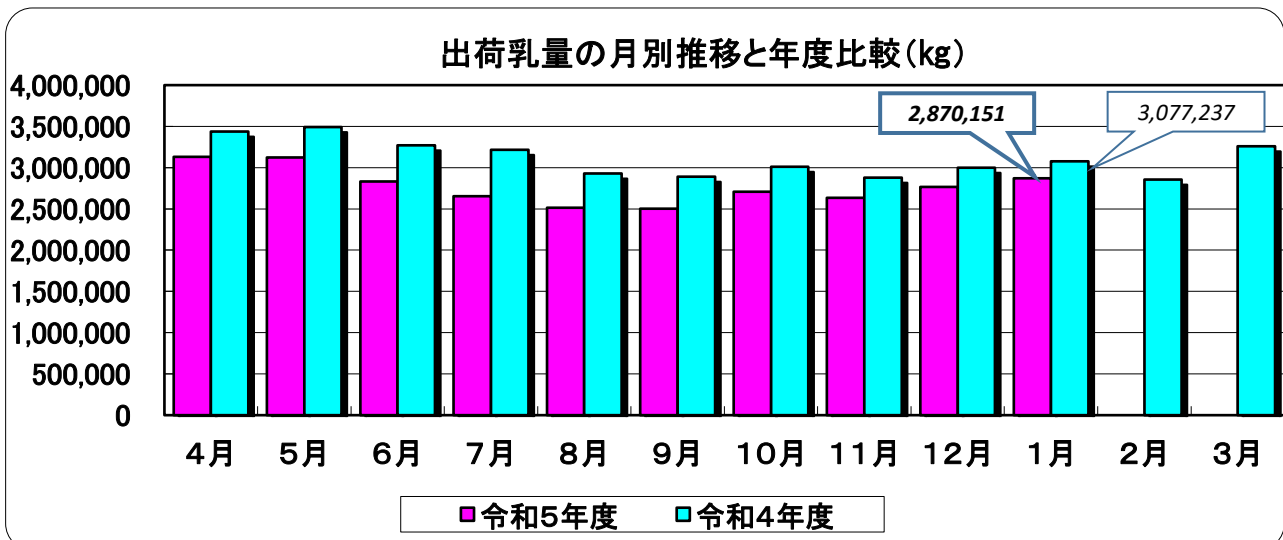
生乳生産統計

1. 全国(令和5年12月・農林水産省牛乳乳製品の生産動向より)

			生乳生産量 (千トン)	対前年比 (%)
令和	5年	4月	628.0	95.6
令和	5年	5月	648.9	95.6
令和	5年	6月	619.3	96.3
令和	5年	7月	616.5	95.5
令和	5年	8月	590.1	94.1
令和	5年	9月	573.4	94.6
令和	5年	10月	597.8	96.1
令和	5年	11月	578.9	97.0
令和	5年	12月	609.1	98.1
令和	6年	1月		
令和	6年	2月		
令和	6年	3月		
令和	5年度	累計	5,461.8	95.9

2. 兵庫県酪農協取扱い分(公共施設除く)

地区	令和 6年1月		年度累計		出荷農家 戸数
	生乳生産量 (kg)	対前年比 (%)	生乳生産量 (kg)	対前年比 (%)	
阪神地区	531,737	92.2	5,199,788	88.9	19
播州地区	359,301	71.8	3,515,955	66.8	15
丹但地区	270,386	87.6	2,656,987	84.6	13
淡路地区	1,708,727	101.0	16,364,099	96.5	80
合計	2,870,151	93.3	27,736,829	88.9	127



理事会報告

令和6年1月30日(火)、第8回理事会をWEB会議方式により理事5名、監事2名の出席のもと開催した。組合長挨拶の後、令和5年度生乳計画生産進捗状況、令和5年度11月起点限定決算、地区別懇談会の結果について報告。次の事項について協議した。

①譲渡承認並びに組合員加入の承認について

組合員から届出のあった出資の持分譲渡に伴う組合員加入を承認した。

②組合事業並びに業務改善内容の検討について

以前から継続協議している業務のスリム化の項目について再度リストアップし、新年度の開始に向け内容を協議した。(継続審議)

その他として、ポジティブチェックシートの集乳時一部伝票化について話し合った。

お知らせ

第42回兵庫県ブラック&ホワイトショウ開催

開催日時:令和6年3月10日9:30

開催場所:淡路家畜市場内特設会場

出品予定頭数 40頭

審査員 山内 誠 (北海道北見市酪農家)

是非ともご来場ご観覧ください。

兵庫県乳牛改良協議会

◆ 主な行事予定 ◆

2月	3月
19日 損害評価会家畜共済部会 (共済会館)	1日 職員会議 (WEB)
22日 全国酪農協会・令和5年度役員報酬等 審議委員会 (WEB)	5日 近畿生乳販連理事会 (WEB)
内部管理職会議	10日 第42回兵庫県ブラック&ホワイトショウ (淡路家畜市場)
J A総務担当部課長会議 (農業会館)	11日 岩崎税理士・税務監査
27日 兵庫県畜産協会理事会 (農業会館)	12日 決算実務WEBセミナー (WEB)
職域型年金委員研修会 (WEB)	19日 近畿生乳販連理事会・臨時総会
	21日 全酪連ブロック別会長・組合長会議 (新大阪)
	22日 内部管理職会議
	29日 年度末棚卸監査 (小野・淡路SP・本所)

技術情報

初回授精から「プログラム授精」を実施してみませんか？

～淡路農業技術センターでの試験事例より～

兵庫県立農林水産技術総合センター淡路農業技術センター畜産部 石川 翔

皆さんは、今、ご自身の牛群管理で苦労していることは何でしょうか？乳房炎、乳脂率、暑熱対策・・・、農場それぞれで異なると思いますが、「繁殖成績を良くしたい（より良くしたい）」という思いは、多くの方に共通するのではないのでしょうか？

繁殖成績の改善は全体的な乳量の増加、後継娘牛の安定確保、F1等の販売収入の増加につながります。また、スムーズに受胎した牛は、太りすぎることなく次産分娩を迎えるため分娩事故も少なくなります。これらを考慮すると、分娩間隔を1日短縮することで、約1,200円の利益につながるとされています。50頭の牛群では、平均分娩間隔を10日短縮できれば、単純計算で年間約60万円の収益アップにつながり、20日短縮できれば120万円です！

ここでは、皆さんの農場の繁殖成績改善につながる試験研究成果について紹介をさせていただきます。

※この記事は、令和3年1月のらくのうメモに掲載させていただいた内容をベースに、淡路島内の酪農家での現地試験の成績を加えて加筆したものです。

飼料高騰による厳しい状況を乗り切るためにも、今一度、繁殖成績の改善に目を向けていただきたく、再度情報提供をさせていただきます。

プログラム授精（定時人工授精）について

皆さんはご自身の牛に「プログラム授精（定時人工授精）」を実施されたことはあるでしょうか？実施したことがない方もおられるかもしれませんが、簡単に説明すると、「あらかじめ授精時刻を決めておき、その時刻に高い受胎率が得られるように、排卵のタイミングを調整する授精方法」です。排卵のタイミングの調整は、複数のホルモン剤を併用して行います。この方法の大きなメリットの一つに「発情観察が不要になる」ということがあげられます。普段の発情に対して授精する際のベストタイミングは正確には分かりませんが、この手法であれば、高確率でベストタイミングで授精が可能になります。

これまでも、飼養牛に対してプログラム授精を実施された方の多くは、なかなか受胎してくれない長期不受胎牛やリピートブリーダーに対して実施されていたのではないのでしょうか？近年では、大規模農場を中心に、初回授精から積極的にプログラム授精を行う農場が増えてきています。淡路農業技術センターでも、泌乳最盛期の牛に対し

て、初回授精としてプログラム授精を実施し、その効果の検証を行いました。また、受胎牛と不受胎牛の血液検査成績などの比較を行うことで、初回授精にプログラム授精を用いる際の注意点や効果的な利用法を検証しました。

淡路農技センターでの受胎成績

試験では 41 頭の試験牛に対して、分娩後 74-80 日の泌乳最盛期に「プログラム授精」で初回授精を行いました。プログラム授精にはいくつか方法があるのですが、この試験では、ホルモン注射と膣内留置型のプロゲステロン製剤（CIDR, トンボ）の挿入を併用した方法（オブシンク・シダー法：図 1）を用いました。これは、特別な方法ではなく、一般的にもよく利用される手法です。



図1 オブシンク・シダー法のプロトコール

その結果、平均初回授精日数は 77.6 日、受胎率は 46.3%（41 頭中 19 頭が受胎）となりました。2015 年の県内検定農家の平均初回授精日数（96.9 日）と平均初回授精受胎率（27.8%）に比べて非常に良好な成績が得られました（図 2）。



図2 試験牛のプログラム授精成績

栄養状態も合わせて改善を！

では、どんな農場でも、この方法で初回授精を行えば良い受胎率が得られるかというと、そうではありません。やはり、牛の「栄養状態」が受胎成績に大きく影響します。今回の試験で受胎した 19 頭と不受胎だった 21 頭の血液中のグルコース（血糖値）とアルブミン（蛋白質の一種）の濃度の比較を図3に示します。どちらも栄養状態を反映する指標ですが、受胎牛の方が高く（良好に）推移していることが分かります。

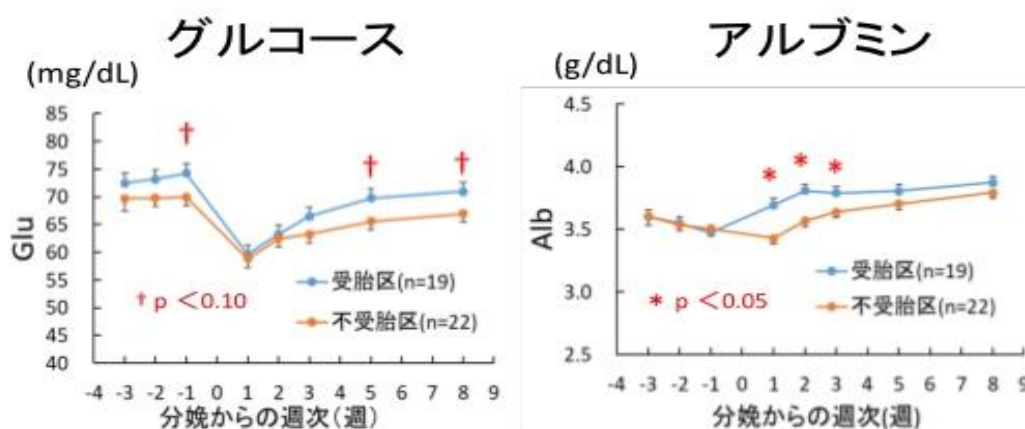


図3 受胎牛と不受胎牛の栄養状態の比較

当センターでは、栄養・エネルギーバランスを考慮して飼料設計をしていますが、その中でも、個体毎の状態の違いにより、やや栄養状態の悪かった牛では受胎率が低くなりました。このことから、分娩前後の飼料給与量が不十分な牧場などでは、初回授精にプログラム授精を用いても、あまり良い結果が出ない可能性があります。粗飼料と濃厚飼料のバランスに注意しながら、分娩前から必要量の飼料をしっかりと食べ込ませたうえで、この授精方法を実施することが重要です。

夏～秋口には、状態の良い牛にしぼって実施しましょう

もう一つ、この方法を実施する際の注意点として、「暑熱の影響」があげられます。試験牛を「夏の暑さの影響を受けた牛（7～9月に分娩または授精をした牛）18頭」と、「夏の暑さの影響を受けていない牛23頭」に分けて受胎率を比較した所、それぞれ22.2%と65.2%となりました（図4）。残念ながら、この方法を用いても、夏場の受胎率向上には直結しないと思われます。とはいえ、暑熱の影響を受けながらも受胎した牛は、不受胎だった牛に比べて、乾物摂取量や血糖値が良好に推移していました（図5）。夏の暑さに負けず、エサ食いの落ちていない元気な牛に対しては、夏場でも積極的にプロ

グラム授精を利用しても良いと思います。逆に、明らかに状態の悪い牛に対しては、ホルモン処置などにかかるコスト等を考えると、夏場の実施は見送った方が良いでしょう。

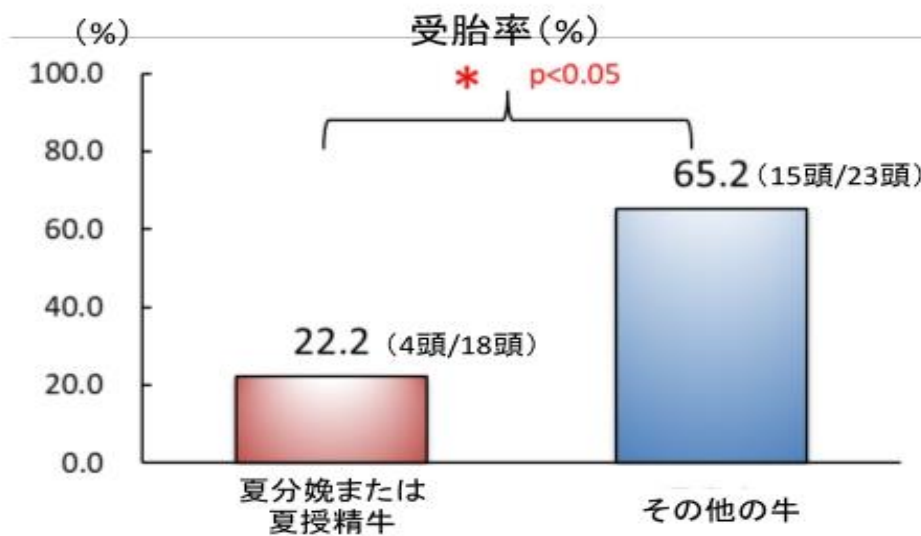


図4 季節による受胎率の比較

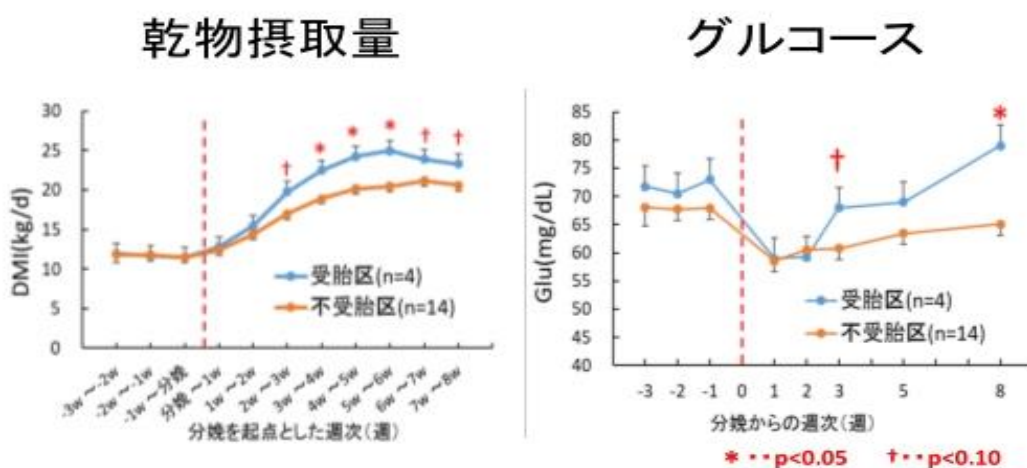


図5 暑熱影響牛における受胎牛と不受胎牛の比較

酪農家の現地試験でも良好な成績が得られました!

淡路島内の2戸の農場にご協力をいただき、初回授精をプログラム授精で行った場合(試験区)と、自然発情の発見に基づく通常どおりの繁殖管理を行った場合(対照区)での成績を比較しました。A農場では、プログラム授精により初回授精日数が約28日短縮し、初回授精受胎率は72.7%と非常に良好な成績が得られました(図6)。B農場では、初回授精の受胎率は自然発情牛と差はありませんでしたが、分娩後105日以内に受胎した牛の割合が大きく向上しました。この要因として、プログラム授精のホルモン処置により適正な発情周期が作られたことが、不受胎だった牛の再発情時の受胎率向上につながり、このような結果になったと考えています(図7)。

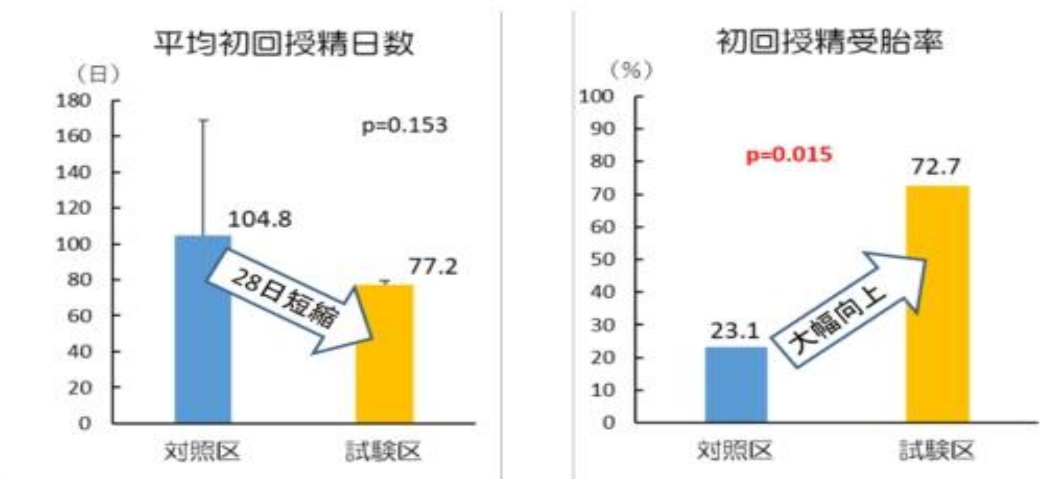


図6 A牧場の繁殖成績



図7 B牧場の繁殖成績

最後に

ここまでデータをお示ししたように、初回授精におけるプログラム授精の実施は、農場の繁殖成績を向上するための有効な手法の一つです。ただし、繰り返しになりますが、繁殖成績向上において最も重要なのは、牛にバランスの取れた飼料を十分に与え、栄養状態を良好に保つことです。その上で、さらなる改善策として、初回プログラム授精の実施を獣医師にご相談してみてもはいかがでしょうか？

参考情報

淡路家畜市場情報

令和6年1月第2金曜日

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
F1 スモール	メス	今回	26	54,662	138,600	1,100			57		
		前回	23	49,787	146,300	15,400			55	4,875	9.8%
		前年	15	96,213	181,500	17,600			58	-41,551	-43.2%
	オス	今回	21	63,433	168,300	1,100			59		
		前回	22	49,750	111,100	5,500			55	13,683	27.5%
		前年	13	135,131	317,900	72,600			58	-71,698	-53.1%
去勢	今回										
	前回										
	前年										

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
ホルス スモール	メス	今回									
		前回									
		前年									
	オス	今回	2	6,600	7,700	5,500			51		
		前回	5	15,400	24,200	11,000			55	-8,800	-57.1%
		前年	5	10,560	22,000	1,100			52	-3,960	-37.5%
去勢	今回										
	前回										
	前年										

* 前回は令和6年12月第4金曜日・前年は令和5年1月第2金曜日

令和6年1月第4金曜日

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
F1 スモール	メス	今回	25	46,904	105,600	3,300			59		
		前回	26	54,662	138,600	1,100			57	-7,758	-14.2%
		前年	14	83,679	162,800	33,000			57	-36,775	-43.9%
	オス	今回	17	51,765	103,400	1,100			56		
		前回	21	63,433	168,300	1,100			59	-11,668	-18.4%
		前年	13	121,000	217,800	35,200			59	-69,235	-57.2%
去勢	今回										
	前回										
	前年										

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
ホルス スモール	メス	今回									
		前回									
		前年									
	オス	今回	2	14,850	15,400	14,300			55		
		前回	2	6,600	7,700	5,500			51	8,250	125.0%
		前年	3	13,567	19,800	7,700			54	1,283	9.5%
去勢	今回										
	前回										
	前年										

* 前回は令和6年1月第2金曜日・前年は令和5年1月第4金曜日

隣県家畜市場情報

乳用種(雄のみ)

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
3年次	83,134	947	92,646	1,184	74,198	254	108,163	98,856	
4年次	61,056	878	68,011	1,060	60,809	224	70,776	85,621	
5年次	29,220	543	34,615	1,067	23,993	117	50,602	71,669	
4	1	60,274	73	86,602	118	96,842	26	84,852	7,917
	2	78,917	74	84,541	76	82,622	27	99,587	7,368
	3	89,551	78	93,886	134	84,111	28	104,430	8,775
	4	96,634	73	98,901	78	93,317	18	101,788	7,440
	5	112,322	54	111,763	78	99,245	18	123,317	6,324
	6	122,177	71	111,003	68	119,460	10	117,640	7,227
	7	95,057	53	104,775	56	85,663	8	74,406	7,599
	8	45,824	76	66,689	75	30,158	12	31,436	7,762
	9	25,075	83	22,432	102	17,417	12	15,575	6,428
	10	16,210	91	21,039	87	9,477	26	20,611	6,131
	11	18,362	78	20,287	97	8,250	22	26,558	6,750
	12	14,582	74	21,227	91	10,159	17	22,961	5,900
5	1	15,738	78	27,690	58	19,500	22	23,711	5,826
	2	15,420	56	22,022	99	12,624	21	36,078	5,457
	3	32,237	49	30,240	53	10,633	12	51,012	6,592
	4	34,608	39	43,205	90	47,594	15	58,915	5,810
	5	65,572	36	67,518	79	50,008	13	69,390	6,043
	6	67,793	27	74,466	79	59,620	5	76,121	6,049
	7	52,833	33	60,202	74	11,000	1	64,051	5,771
	8	31,746	57	28,792	138	取引なし		38,962	6,771
	9	15,620	45	17,446	107	20,411	9	32,738	5,721
	10	16,375	53	15,531	84	3,713	8	45,190	5,949
	11	18,925	44	24,182	123	6,160	5	55,887	5,995
	12	26,865	26	22,490	83	11,367	6	54,285	5,685

交雑種・乳

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
3年次	210,211	6,047	193,481	4,181	230,848	1,993	181,918	178,394	
4年次	157,307	6,259	149,060	3,820	190,213	1,918	135,855	174,435	
5年次	122,559	6,136	118,800	3,797	164,470	1,740	94,892	180,638	
4	1	156,690	554	134,664	365	200,007	194	150,928	14,421
	2	154,568	511	135,321	311	173,563	172	163,424	13,270
	3	173,935	563	159,393	369	183,812	206	175,588	15,423
	4	181,317	559	179,829	287	212,539	189	178,697	13,776
	5	209,912	449	203,328	263	235,953	151	190,858	12,825
	6	238,145	353	221,190	368	220,208	143	187,300	12,975
	7	204,151	331	188,185	287	226,511	112	157,593	13,177
	8	156,707	560	151,410	271	196,618	121	100,500	15,237
	9	124,209	554	110,885	393	148,069	153	88,395	15,808
	10	129,255	531	106,490	278	161,723	143	91,131	15,097
	11	114,617	706	98,855	296	169,113	153	93,840	16,644
	12	114,802	588	106,584	332	166,884	181	86,297	15,782
5	1	115,818	567	103,190	309	147,300	186	79,231	15,219
	2	115,327	470	103,410	331	144,020	179	93,942	14,311
	3	123,802	587	117,235	331	158,154	197	102,795	15,544
	4	157,892	531	138,296	315	195,491	203	111,958	14,394
	5	188,398	436	177,927	221	219,636	127	123,340	14,179
	6	204,456	298	202,847	271	250,721	111	139,965	13,253
	7	190,503	353	184,677	242	239,165	97	128,267	13,148
	8	131,660	527	123,996	394	152,514	74	86,471	16,037
	9	89,548	562	92,832	339	156,607	135	72,652	15,330
	10	81,329	653	74,372	339	112,121	140	69,375	16,525
	11	77,949	545	82,405	370	109,956	147	76,318	16,520
	12	82,404	607	82,359	335	131,580	144	71,699	16,178

※ 生後60日齢までの情報になっておりますので、ご注意下さい。

令和6年1月乳牛市場成績

頭：千円：税込

市場名	開催日	育成牛（乳・糸系・他）				初妊牛（乳・糸系・他）				経産牛（乳・糸系・他）			
		成立頭数	最高値	最低値	平均値	成立頭数	最高値	最低値	平均値	成立頭数	最高値	最低値	平均値
豊 富	1/12					279	761	228	550	7	405	242	341
十 勝	1/15					793	1,032	127	637	43	670	190	476
十 勝	1/18	413	524	32	361								
南北海道	1/19	50	399	95	297	90	771	176	587	9	426	242	360
北 見	1/24					304	878	418	642	6	552	300	403
根 室	1/25					476	914	286	628				
釧 路	1/26					335	872	282	614				
合計	7回	463	524	32	354	2,277	1,032	127	620	65	670	190	438

前年同月成績	8回	966	397	1	236	2,387	1,110	113	503	171	704	59	299
前月合計成績	8回	800	449	12	276	2,431	994	143	496	185	670	41	307

ホクレン乳牛市場開催日程

2月1日(木)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音 更)	3月1日(金)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音 更)
2月2日(金)	ホクレン北見地区総合家畜市場	(佐呂間) 育成	3月8日(金)	ホクレン豊富地域家畜市場	(豊 富)
2月5日(月)	ホクレン釧路地区家畜市場	(大楽毛) 育成	3月8日(金)	ホクレン根室地区家畜市場	(中標津) 育成
2月8日(木)	ホクレン根室地区家畜市場	(中標津)	3月11日(月)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音 更) 育成
2月9日(金)	ホクレン豊富地域家畜市場	(豊 富)	3月14日(木)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音 更)
2月13日(火)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音 更) 育成	3月15日(金)	ホクレン南北海道家畜市場	(安 平)
2月14日(水)	ホクレン釧路地区家畜市場	(大楽毛)	3月20日(水)	ホクレン北見地区総合家畜市場	(佐呂間)
2月15日(木)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音 更)	3月21日(木)	ホクレン根室地区家畜市場	(中標津)
2月16日(金)	ホクレン南北海道家畜市場	(安 平)	3月22日(金)	ホクレン釧路地区家畜市場	(大楽毛)
2月28日(水)	ホクレン北見地区総合家畜市場	(佐呂間)	3月28日(木)	ホクレン豊富地域家畜市場	(豊 富) 育成
2月29日(木)	ホクレン根室地区家畜市場	(中標津)			

ホクレン家畜市場所在地及び担当支所（問合せ先）

市場名	市場所在地	電話番号	担当支所・課	電話番号
南北海道家畜市場	勇払郡安平町早来新栄4番地	0145-22-4109	苫小牧支所 酪農課	0144-36-1431
豊富地域家畜市場	天塩郡豊富町上サロベツ569番地の1	0162-82-3150	稚内支所 酪農課	0162-34-2131
十勝地区家畜市場	河東郡音更町字音更西2線9-1	0155-42-2231	帯広支所 酪農課	0155-66-8220
北見地区総合家畜市場	常呂郡佐呂間町西富127番地2	01587-2-2689	北見支所 酪農課	0157-23-9003
釧路地区家畜市場	釧路市大楽毛86番地1	0154-57-8457	釧路支所 酪農課	0154-23-6163
根室地区家畜市場	標津郡中標津町南中10番2	0153-72-1366	中標津支所 酪農課	0153-72-9967
ホクレン本所 酪農部 家畜販売課	札幌市中央区北4条西1丁目3番地	011-232-6188		

☆家畜車の手配につきましても、各市場担当課にて承っておりますのでご相談下さい。

北海道乳牛生産地情報

(令和6年2月1日現在)

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	3.0~4.0	強含み	札幌管内の1月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計で92.6%、累計で93.9%、苫小牧管内月計で94.0%、累計で92.4%の実績となっております。
	初妊牛	6.0~7.0	強含み	2月の初妊牛動向といたしまして、4月~5月中旬分岐中心となります。最も需要が高い春分岐が出回ることから、強含みで推移することが見込まれます。この時期の資源も少なく、この相場はしばらく続く見込まれます。当地域は、高能力牛の資源が揃いやすいため、弊会各支所を通じて都府県の皆様へ紹介して参りますので、ご要望がございましたらご注文を宜しくお願いいたします。
	経産牛	4.5~5.5	強含み	
釧路管内	育成牛(10-12月令)	3.0~4.0	やや強含み	根釧管内の1月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で99.2%、累計で96.1%、中標津管内月計で102.6%、累計で96.9%の実績となっております。
	初妊牛	6.0~7.0	強含み	2月の初妊牛動向といたしまして、4月~5月中旬分岐中心となります。先月と同様に春分岐の需要が見込まれるため、相場は強含みに推移すると予想されます。道内での後継牛確保の動きに加え、昨年の猛暑により受胎率が下がっていることから、雌雄選別腹の出回り頭数が少ない状況が続いております。経産牛につきましても、乳価改定や春分岐需要により、やや強含みで推移すると見込まれます。
	経産牛	5.0~5.5	強含み	
帯広管内	育成牛(10-12月令)	3.5~4.5	強含み	帯広管内の1月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で98.8%、累計で95.1%の実績となっております。
	初妊牛	6.0~7.0	強含み	2月の初妊牛動向といたしまして、4月~5月中旬分岐中心となります。年明けから相場が急騰したことから、春分岐の需要の高さが伺え、60万円以上の相場となつて推移すると見込まれます。資源の少ない雌雄選別腹に加え、F1腹の需要も高まってきており、腹別による価格差は無くなってきています。受精卵移植は、引き続き資源は豊富にある状況です。また、即戦力の経産牛、春生まれの育成牛についても初妊牛相場に比例して堅調な相場となっております。他地域と比較し出回り頭数が多いため、資源を揃えやすく、大口導入にも対応出来ますのでご注文宜しく申し上げます。
	経産牛	5.0~5.5	強含み	
道北管内	育成牛(10-12月令)	3.0~4.0	やや強含み	道北管内の1月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で96.5%、累計で95.2%、北見管内月計で99.9%、累計で95.5%の実績となっております。
	初妊牛	6.0~7.0	強含み	2月の初妊牛動向といたしまして、4月~5月中旬分岐中心となります。春分岐牛中心となるため需要集中し、相場は強含みに推移すると見込まれます。腹別では雌雄選別腹とF1腹での価格差はそれほどありませんが、出回り頭数は雌雄選別腹が道内自家保有する酪農家が多い傾向から、出回る資源が少なくなっている状況です。経産牛に関しては、出回り頭数が減少していることから、強含みで推移すると考えられます。
	経産牛	4.5~5.5	強含み	
道内総括	育成牛(10-12月令)	3.0~4.0	やや強含み	道内の12月中旬までの生乳生産量前年比は99.9%、累計で95.7%の実績となっております。道内は、長い冬の中でも最も寒い季節に入つてきてきました。
	初妊牛	6.0~7.0	強含み	2月の初妊牛動向といたしまして、先月の各地域の相場が急騰したこと、また人気の高い春分岐が本格的に出回ることなどから相場は強含みで推移する見込みです。資源についても、昨年の猛暑の影響を受けたことから、全国的に不足しており導入意欲が非常に高まっています。弊会庭先購買も前年と比較すると増加傾向であり、都府県における導入意欲が回復してきております。春分岐が出回り尽くすまで、この相場感には続く見込まれますが、道内農協の協力の元、庭先購買を中心に要望に合った搾乳用兼牛を購買していきたいと思っております。導入計画がございましたらお早めにご注文を頂きますようお願いいたします。
	経産牛	5.0~5.5	強含み	

*上記相場は、血統登録牛(中クラス)の庭先選苗購買による予想相場です。

庭先選苗購買のため、市場購買とは異なります。

全国酪農業協同組合連合会(全酪連)

札幌支所
☎011-241-0765

毎度、乳牛購買事業に大変ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

乳牛の導入計画がありましたら、最寄りの支所へご一報下さい。

担当者がお伺いし、最近の状況をご説明し、納得いただいたるよう購買のお手伝いを致します。

また、購買後の輸送・事故処理は責任を持って最寄りの支所と札幌支所がお世話申し上げます。

(各事務所電話番号)

釧路事務所 ☎(0154)52-1232

根室駐在員事務所 ☎(0153)76-1877

帯広事務所 ☎(0155)37-6051

道北事務所 ☎(01654)2-2368

令和6年2月13日

輸入粗飼料の情勢

全酪連大阪支所
酪農生産研究会

北米コンテナ船情勢

1月に引き続き、現在も北米西海岸航路は主要の乗継航路を含めて本船スケジュールに乱れが発生しています。1月中旬には北米全体に大寒波が襲い、北部州だけではなく、内陸州でも凍結や暴風注意報が発令されました。その影響により内陸州に向かうトラック数が減少し一時的にトラック不足となり、一部のオーダーで遅延が発生しています。中でも、PNW（太平洋岸北西部）のワシントン州では大寒波による雪の影響でエレンズバーグとシアトル・タコマ港を結ぶI-90（州間高速道路90号線）で事故が発生し、区間閉鎖や一般道路の混雑も発生しておりスケジュール悪化に拍車をかけている状況です。輸出業者も年末前から発生している出荷の遅れに対して改善の兆しがなく、注文に対して半分程度しか出荷出来ていないこともあり、スケジュールの安定までは時間がかかる見込みです。

また、降水量不足の懸念があるパナマ運河では引き続き通行する船舶の通航隻数の制限を行っています。11月の降雨により水不足は一部解消し、通航隻数も緩和されましたが、通常隻数には戻っていない状況です。パナマ運河庁（ACP）は雨季に入る4月末には水位を確保出来ると予想していますが、今後の状況には注視が必要です。

スエズ運河近くの紅海ではイエメンの親イラン武装組織フーシ派による商業船への攻撃が続いているため、各船社はスエズ運河を経由できず、喜望峰経由での運行に変更しており、世界的に輸送効率が大幅に低下しています。一部の船社は早い段階でスエズ運河経由航路の再開を検討していましたが、その後もフーシ派が米貨物船を攻撃するなど、状況は悪化しているため、スエズ運河経由航路の運行再開にはまだ時間がかかる見込みです。

ビートパルプ

【米国】

産地では23-24年産のビートパルプの生産と製糖作業が続いています。産地であるノースダコタ州やミネソタ州では例年より温暖な気候が続いており、屋外で保管されている砂糖大根の廃棄が懸念されていますが、現在のところ問題になっていません。

産地での余剰在庫は例年並～例年以下であることに加え、23-24年産の生産量が予測より下回る可能性もあることから今後の動向を見極める状況が続いています。需要についてはドル高の影響もあり輸出向けは低調に推移しています。

アルファルファ

ワシントン州

主産地であるワシントン州エレンズバーグでは降雨や降雪の影響により屋外で原料草を保管している場所まで行くことができず、米国内輸送にも影響が出ています。2月も降雨予想が続くことから輸送の遅れが続く見込みのため、今後のスケジュールには注視が必要です。また、23年産は上級品の発生が限定的になったことから中～低級品が多くなりましたが、輸出業者は生産コスト上昇による経費削減のため原料草保管タープ(ビニールシート)の枚数を減らしたことで降雨や降雪の被害が発生し、輸出出来ない品質になっています。そのため、中～低級品の産地在庫も限定的となっています。

カリフォルニア州

カリフォルニア州南部のインペリアルバレーでは、降雨が続き例年より気温が低い日が続いています。産地では24年産の生産が進んでおり、一部の圃場で1番刈の収穫が開始されています。産地当局から発表された、1月15日付けのインペリアルバレーにおけるアルファルファの作付面積は前年同期比95%となる146,446エーカーとなっています。

米国産チモシー

23年産の生産は終了しました。23年産の上級品不足の影響により、現在も米国内外から強い引き合いが来ており、低級品の在庫は完売となっています。24年産の作付面積については、23年産の価格下落により生産農家は換金性が高いとうもろこしや大豆といった他作物に転作することが予想されていますが、チモシーに限らず農作物全般の相場が下がっていることから、作付面積は変わらないとの声も出ています。

スーダングラス

スーダンの主な輸出先である日本向けの需要は徐々に回復してきていますが、例年と比較すると停滞しています。23年産の価格軟化や日本の需要減少により、生産農家の意欲も低下しており、24年産の作付面積は23年産よりも減少すると予想されています。先々の生産量は減少の見込みですが、日本向けの需要に対しては未だに22年産の旧穀在庫を抱えている輸出業者もいるため供給力に懸念はないと思われます。

クレーングラス（クレーンは全酪連の登録商標です）

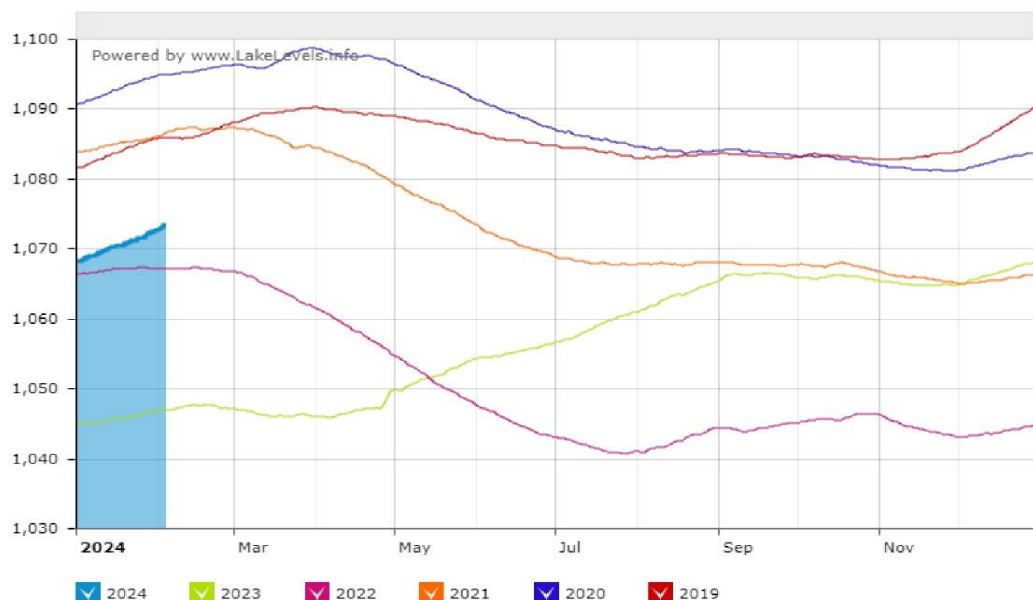
カリフォルニア州南部インペリアルバレーの灌漑局から発表となった1月15日時点の作付面積は21,330エーカー（昨年同時期21,895エーカー）、前年同時期比97%となっています。

米国内需からの引き合いはないものの、日本や韓国向けの出荷は安定している状況です。

ファロープログラム（休耕地政策）について

米国連邦政府は、干ばつによるミード湖の水位減少に歯止めをかけ、長期的な問題解決に取り組むため、節水を目的とするファロープログラム（休耕地政策）を検討しています。ファロープログラムは1年を通して刈取り回数が多い、クレーングラス、バミューダ、アルファルファといった多年草を対象に、夏場の刈取りを行う際に水を入れずに畑を休ませることで節水を行い、牧草生産者へ補助金を支出する政策です。クレーングラスは例年1～5番刈まで刈取りを行いますが、ファロープログラムを実施した場合、夏場に刈取る4番～5番刈を行わないこととなり、生産量減少が見込まれるため政策実施の有無について注視が必要です。

下記図は2019年から2024年2月現在までのミード湖貯水量の推移（単位：フィート）で、2023年（黄緑線）はロッキー山脈からの雪解け水やハリケーンによる降雨の影響でミード湖の水位が上昇しましたが、2019（赤線）－2020年（紫線）と比較すると依然として水位は低水準で推移しています。



（出典：<https://www.lakesonline.com/>より）

ストロー類（フェスキュー・ライグラス）

23年産は降雨が少なく土壌中の水分が不足した影響で生育が進まず収穫期に突入したことから生産量は大幅に減少しています。現在の日本向け需要は低調ですが、韓国向けで出荷が回復してきています。オレゴン州主要積み出し港のポートランド港では慢性的な空コンテナ不足に加え、悪天候の影響で出荷の遅れが懸念されています。

カナダ産チモシー

主産地であるアルバータ州中部クレモナ地区、南部レスブリッジ地区では12月は暖冬の影響で温暖な日が続き、1月は大寒波の影響で急激に気温が下がり氷点下20℃～30℃の日が続きましたが、2月現在は春先並の気候の予報となっています。暖冬の影響でカナダ国内酪農家向けの越冬用需要が軟化したことから、引き合いは例年より少なくなっています。

豪州産オーツハイ・ウィートストロー

23年産オーツハイの作況は全豪全体で降雨が少なかった影響により大半が上級品の発生で、中～低級品の発生は限定的となりました。

ウィートストローの作況について、収穫作業は概ね1月末で終了していますが、南豪州と東豪州では12月以降、収穫時に降雨が続いた影響で被害が多く発生し、出荷が限定的になる見通しです。西豪州では降雨が少なかったものの、各輸出業者はオーツハイの中～低級品需要を補うためにオーツハイとウィートストローをブレンドして出荷しておりウィートストローの需要は増加しています。

豪州ストライキについて

10月上旬よりMaritime Union(港湾労働者組合)とDP World terminal(港湾施設)間で港湾作業を停止するストライキが断続的に発生していましたが、Maritime Unionに対して賃上げの待遇改善を行うことで大枠合意となりました。両社の合意によりストライキは終了となりましたが、本船スケジュールの乱れの解消には数週間掛かる見込みです。

以上

生産者の皆様へ

薬剤耐性に関する 認知度調査を実施します

細菌による感染症を治療するため、抗菌薬(抗菌性物質を含んだ医薬品のこと)がヒトや動物の分野において広く利用されていますが、近年、抗菌薬が効かない細菌(薬剤耐性菌)が国内外で大きな問題となっています。我が国では、「薬剤耐性対策アクションプラン(2023-2027)」(右の二次元コード参照)に沿って、取組の一層の強化が求められています。

そこで、現在の薬剤耐性に関する認知度を確認し、今後の取組の検討に活用するため、アンケート調査を実施します。御協力をお願い申し上げます。



薬剤耐性対策
アクションプラン
(2023-2027)概要

大腸菌における テトラサイクリン耐性率 (健康な家畜由来)

2022年度薬剤耐性ワンヘルス動向調査
年次報告書より



期間 令和6年2月5日(月)～3月15日(金)

設問数 10問(所要時間3分程度)

回答方法 下記のURLおよび右記二次元コードからアンケートフォームに接続し、回答をお願いします。ご存知の範囲で回答していただいて結構です。

URL <https://www.secure-cloud.jp/sf/business/1704974991JJRupzYZ>



本調査に対するお問い合わせ先

本調査に対する問い合わせは
下記アドレスまでお願いします。
staff@liveup.tokyo



ご協力
お願いします。